



平成31年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年11月6日

上場会社名 ステラケミファ株式会社
 コード番号 4109 URL <http://www.stella-chemifa.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 深田 純子
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経理部長 (氏名) 中島 康彦
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月9日 配当支払開始予定日 平成30年11月30日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家向け

上場取引所 東

TEL 06-4707-1512

平成30年11月30日

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	19,458	16.4	2,159	18.3	2,367	39.4	1,494	45.5
30年3月期第2四半期	16,720	19.9	1,825	8.1	1,698	33.9	1,027	10.9

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 1,305百万円 (29.1%) 30年3月期第2四半期 1,011百万円 (149.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	115.73	
30年3月期第2四半期	82.47	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第2四半期	53,486	33,516	60.3	2,498.41
30年3月期	51,373	32,485	60.8	2,418.72

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 32,262百万円 30年3月期 31,233百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		20.00		21.00	41.00
31年3月期		20.00			
31年3月期(予想)				21.00	41.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,700	12.1	2,600	9.7	2,800	59.4	1,700	33.4	131.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期2Q	13,213,248 株	30年3月期	13,213,248 株
期末自己株式数	31年3月期2Q	300,185 株	30年3月期	300,185 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期2Q	12,913,063 株	30年3月期2Q	12,455,839 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想の利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信「添付資料」2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益が持続的に改善し、雇用・所得環境の改善、個人消費の持ち直しや設備投資等、緩やかな回復基調にあります。海外経済については、保護主義的通商政策の拡大や長期金利上昇、新興国経済の悪化、中東地域における地政学的リスク等が景気の下振れリスクとして懸念されており、先行きは依然として不透明な状況が続いています。

このような環境のもと、当社グループは国内外の情報通信産業を中心に、顧客のニーズに基づいた多種多様なフッ化物製品の供給を行うとともに、特殊貨物輸送で培った独自のノウハウに基づいた化学品の物流を担う事業展開を行ってきました。

当第2四半期連結累計期間の業績におきまして、活況な半導体市場を背景に半導体液晶部門の出荷量が増加し、また無水フッ酸価格の急騰を受けた販売価格への転嫁を進めた結果、半導体液晶部門、表面処理部門等の販売が増加したことにより、売上高は194億58百万円（前年同期比16.4%増）となりました。

利益面におきましては、前期より急騰している主要原材料の無水フッ酸について、当期に入り一旦下落に転じた後、再度上昇する動きを見せていますが、無水フッ酸価格の急騰を受けた販売価格への転嫁を着実に進めた結果、営業利益は21億59百万円（同18.3%増）となりました。また営業利益の増加に加え、原材料購入における為替リスクのヘッジを目的として取り組んでいるデリバティブ取引について、円安の進行により、前年同期を上回るデリバティブ評価益を計上したため、経常利益は23億67百万円（同39.4%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は14億94百万円（同45.5%増）となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の業績予想につきましては、平成30年5月11日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,192	13,440
受取手形及び売掛金	9,753	9,818
商品及び製品	3,104	2,806
仕掛品	1,618	1,263
原材料及び貯蔵品	1,655	1,927
その他	800	1,067
貸倒引当金	△22	△22
流動資産合計	26,101	30,301
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,025	6,998
機械装置及び運搬具(純額)	6,758	6,475
土地	5,467	5,467
建設仮勘定	882	551
その他(純額)	1,519	1,693
有形固定資産合計	21,654	21,187
無形固定資産		
その他	144	335
無形固定資産合計	144	335
投資その他の資産		
その他	3,504	1,692
貸倒引当金	△30	△30
投資その他の資産合計	3,473	1,662
固定資産合計	25,272	23,185
資産合計	51,373	53,486

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,557	2,086
短期借入金	1,860	1,960
1年内返済予定の長期借入金	2,794	2,788
未払法人税等	490	901
賞与引当金	353	344
その他	2,561	2,026
流動負債合計	10,617	10,106
固定負債		
長期借入金	6,203	7,841
役員退職慰労引当金	582	537
退職給付に係る負債	809	822
資産除去債務	505	502
その他	171	159
固定負債合計	8,271	9,863
負債合計	18,888	19,969
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,829	4,829
資本剰余金	7,152	7,152
利益剰余金	19,281	20,502
自己株式	△495	△495
株主資本合計	30,768	31,989
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	33	38
繰延ヘッジ損益	—	△8
為替換算調整勘定	431	242
その他の包括利益累計額合計	464	272
非支配株主持分	1,252	1,254
純資産合計	32,485	33,516
負債純資産合計	51,373	53,486

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	16,720	19,458
売上原価	12,915	15,144
売上総利益	3,804	4,314
販売費及び一般管理費	1,979	2,154
営業利益	1,825	2,159
営業外収益		
デリバティブ評価益	172	348
その他	53	86
営業外収益合計	226	435
営業外費用		
支払利息	24	20
為替差損	173	—
減価償却費	55	—
持分法による投資損失	69	191
その他	30	15
営業外費用合計	353	227
経常利益	1,698	2,367
特別利益		
固定資産売却益	14	10
その他	—	0
特別利益合計	14	11
特別損失		
固定資産廃棄損	183	28
固定資産売却損	0	—
特別損失合計	183	28
税金等調整前四半期純利益	1,528	2,350
法人税等	502	838
四半期純利益	1,026	1,512
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	17
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,027	1,494

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	1,026	1,512
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	5
繰延ヘッジ損益	26	△8
為替換算調整勘定	△8	△146
持分法適用会社に対する持分相当額	△34	△57
その他の包括利益合計	△15	△207
四半期包括利益	1,011	1,305
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,016	1,302
非支配株主に係る四半期包括利益	△5	2

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,528	2,350
減価償却費	1,642	1,579
貸倒引当金の増減額(△は減少)	4	△0
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1	△9
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	14	△45
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	29	12
受取利息及び受取配当金	△6	△8
支払利息	24	20
為替差損益(△は益)	98	109
持分法による投資損益(△は益)	69	191
有形固定資産除売却損益(△は益)	169	17
デリバティブ評価損益(△は益)	△172	△348
売上債権の増減額(△は増加)	△2,484	△145
たな卸資産の増減額(△は増加)	△336	359
仕入債務の増減額(△は減少)	380	△408
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△18	△350
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△640	△89
未収消費税等の増減額(△は増加)	△21	91
未払消費税等の増減額(△は減少)	△215	237
その他	59	72
小計	123	3,636
利息及び配当金の受取額	6	8
利息の支払額	△25	△20
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△715	△416
営業活動によるキャッシュ・フロー	△611	3,209
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△140	△124
定期預金の払戻による収入	160	141
有形固定資産の取得による支出	△1,732	△1,683
有形固定資産の売却による収入	230	12
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
その他の支出	△63	△215
その他の収入	19	16
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,527	△1,854

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△481	100
長期借入れによる収入	700	3,400
長期借入金の返済による支出	△1,867	△1,768
新株予約権の行使による株式の発行による収入	272	—
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△297	△272
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,673	1,459
現金及び現金同等物に係る換算差額	△103	△142
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,916	2,671
現金及び現金同等物の期首残高	14,169	8,930
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,252	11,601

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しています。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	高純度薬品	運輸	メディカル	計		
売上高						
外部顧客への売上高	14,534	2,087	—	16,622	98	16,720
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	1,605	—	1,606	92	1,699
計	14,536	3,692	—	18,228	191	18,419
セグメント利益又は損失(△)	1,865	376	△440	1,801	15	1,816

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理事業、自動車整備事業を含んでいます。

2. 報告セグメントの利益または損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,801
「その他」の区分の利益	15
セグメント間取引消去	8
四半期連結損益計算書の営業利益	1,825

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	高純度薬品	運輸	メディカル	計		
売上高						
外部顧客への売上高	17,199	2,159	—	19,359	99	19,458
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	1,778	—	1,778	96	1,874
計	17,199	3,938	—	21,137	195	21,333
セグメント利益又は損失(△)	2,220	413	△505	2,128	21	2,149

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理事業、自動車整備事業を含んでいます。

2. 報告セグメントの利益または損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,128
「その他」の区分の利益	21
セグメント間取引消去	10
四半期連結損益計算書の営業利益	2,159

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。